



# 宇都宮市立一条中学校だより

令和6年4月26日 No.1

生徒指標 《私たちの信条》

- 1 自ら学び自ら考える生徒
- 2 認め合い協力する生徒
- 3 明るくたくましい生徒

燃える闘魂 輝く一条

◆今年度も学校だよりを随時発行し、学校の情報等を提供してまいります。

➤保護者の皆様には、カラーで見えていただけるよう、紙の配布は行わず、さくら連絡網を活用して送付いたします。Classroomでも配信しますので、生徒の皆さんとも一緒に見ていただければと思います。

➤地域の皆様方に、紙で回覧する学校だよりは、単色で印刷しているため、写真や文字等が不鮮明な場合がありますことを、ご了承ください。学校のホームページにも、日々の様子や様々な情報をカラーで掲載しておりますので、そちらもご覧ください。職員組織も掲載しております。

校長 山岸一裕

<ホームページ>

<http://www.ueis.ed.jp/school/ichijo-j/>

※本サイトの文書・画像・写真等の各ファイルの無断使用・転載  
・引用は固く禁じます。

ホームページの2次元コード



## ご挨拶

4月1日より本校校長として着任いたしました 山岸一裕（やまぎし かずひろ）と申します。

前任の 増山孝之 校長 の後を受け、歴史と伝統のある一条中学校の校長として勤務することに責任を感じておりますが、教職員共々、子供たちの教育のために精一杯努力してまいりますので、どうぞよろしく願いたします。



## 本校の教育 《今年度のキーワード》「主体性」

年度当初に当たり、今年度大きく変えたことがあります。それは、学校の教育目標です。一条中の教育目標には、大きくいうと「自主的・創造的に生きること」と、「国際社会に貢献できること」を目指すことの2つが書かれていましたが、昨年度教職員で、話し合い、「自主的」を「主体的」とすることにしました。

主体性とは、何をすべきかが決められていないことに対しても、自らの意志と判断により責任をもって行動する態度や性質です。教育目標は、学校が数年かけて目指していくもので、簡単に変わるものではないのですが、一条中の生徒なら、将来に向かって、自ら考え行動し、これからの社会を生き抜いていくために成長を続けていけると判断し、教育目標をはじめ、学校の教育活動を全て「主体性」の視点で見直すこととしました。

学校教育計画についても添付しましたので、ご覧ください。

### ○教育目標

豊かな心と健やかな身体をもち、自ら考え行動するなど、意欲をもって**主体的**・創造的に生きることができ、日本はもとより国際社会に貢献できる人間を育成する。

## 始業式 4/8 月, 入学式 4/9 火

始業式では、2年生と3年生の代表生徒が、新学期を迎えるにあたっての決意を述べてくれました。

また、入学式はあいにくの雨となってしまいましたが、新入生代表挨拶や担任の呼名に対する返事も立派で、中学校でがんばりたいという気持ちがあふれていました。

以下に、それぞれ学年の代表生徒が述べてくれた内容の概要(さくら連絡網等では巻末に全文)を、紹介いたします。



### 3年生になったの決意(A.Mさん)

僕は、これからの新しい日々に、期待と大きな決意を持って、今この場に立っています。新学期を迎えるにあたり、三つの目標を掲げます。

一つ目は、部活動で活躍すること。二つ目は、全力で全ての学校行事に取り組むこと。三つ目は、受験勉強です。

この三つの目標を胸に、最上級生としての自覚をもちながら、学校を引っ張っていけるような頼もしい3年生になりたいと思います。常に全てのことに全力で挑み、悔いのない学校生活にしていきたいと思います。また、新しいことや、難しいことにも挑戦し、昨年度までの自分を超えていけるように、頑張りたいと思います。そして、最高のクラスメイトやチームメイトと共に、心に残る思い出や伝統を残し、笑顔で巣立つことができるような1年間にしていきたいです。

### 2年生での目標(K.Kさん)

私は、中学二年生になり、喜びと同時に先輩になる責任感が高まり、緊張も感じています。そこで、そんな先輩となる自分を成長させるため、私が目標に掲げることは、「最後まであきらめず取り組むこと」と、「先輩としての自覚を持って生活すること」です。

二年生では、宮っ子チャレンジや立志式など、将来の生き方を考えるいろいろな行事に挑戦することになります。どんなことにも真剣に取り組み、自分が成長できるようにがんばります。

### 新入生代表挨拶(M.Wさん)

これから始まる中学校生活を充実させるために私が頑張りたいことは三つあります。一つ目は英語の学習です。二つ目は委員会活動です。三つ目は学校行事です。

私はこれからはじまる中学校生活の三年間に、大きな希望を抱いています。しかし、初めてのことに戸惑ったり、自分たちだけでは解決できないことが出てきたりすることもあるかもしれません。そんな時には、先生方や先輩方のお力をお借りしながらたくさんの方に挑戦していきたいです。



## 4月28日は創立記念日です

本校は、昭和22年4月1日学制改革によって宇都宮市立南国民学校の校舎及び設備を受け継いで開校され、昭和37年に県内で初の鉄筋コンクリートの校舎が完成し、このとき創立記念日を4月28日と認可されました。昭和37年には生徒数2,543名で県内最大のマンモス校でした。



平成28年8月24日に、一条1丁目から現在の京町に移転し、市内で最新の校舎となっています。栃木県立特別支援学校宇都宮青葉高等学園と隣接し、近くには、総合文化センター、高等学校、博物館、市役所等が整った地区です。

本年度で創立77周年になります。これまで27,773名の卒業生がおり、現在は生徒数432名、普通学級13クラス、特別支援学級2クラスとなっています。

一条中学校は、開校以来、県内の中学校に先駆けて全生徒加入による青少年赤十字が結成されるなど、様々な活動を通して地域の発展に多大なる貢献をしてきました。

平成6年度からは、地域の福祉施設訪問などの体験学習を取り入れるなど、現在でも、福祉、ボランティア活動に力を入れた特色ある教育活動を展開しています。

創立記念日をきっかけに、一条中学校の歴史に思いをやり、新しい校舎への感謝の気持ちや、新たな歴史に第一歩を記す意気込みをもって、学校生活を送ってほしいと思います。

学校教育目標

<基本目標> 豊かな心と健やかな身体をもち、自ら考え行動するなど、意欲をもって主体的・創造的に生きることができ、日本はもとより国際社会に貢献できる人間を育成する。

<生徒の指標> 私たちの信条
・自ら学び自ら考える生徒(知)
・認め合い協力する生徒(徳)
・明るくたくましい生徒(体)

<スローガン> 燃える闘魂 輝く一条

時代や社会の要請・課題

- ・Society5.0時代に生きる力(人間力)の育成
・持続可能な社会の実現
・豊かな人間関係の形成
・災害や感染症に対する対応
・地域とともにある学校づくり

生徒の実態と課題

- ・素直で明るく、物事に真面目に取り組む
・創意工夫しながら、主体的に活動する態度を伸ばしたい
・心身のダメージを回復する力(レジリエンス)を身に付けさせたい

保護者のねがい

- ・たくましく、心豊かな人になってほしい
・将来について主体的に考え、行動できる人になってほしい
・たくさんの友人とともに、様々な経験を積んでほしい

一条地域学校園教育ビジョン

基本をしっかり身に付け、地域に生きる子どもを育む一条地域学校園

学校経営方針

<目指す学校像(3つの柱)>

<あたたかい学校>

- ・心の教育、望ましい人間関係づくりを図る
・特別支援教育の視点を十分に生かす
・花と緑を大切にしたい潤いある環境を整備する
・教職員の団結と健康管理に努める

<活力のある学校>

- ・主体的に学習に取り組む態度を育成する
・体力・気力の向上と健康教育を推進する
・学びやすい、生活しやすい環境を整備する
・職員が働き甲斐のある職場づくりに努める

<地域と共に歩む学校>

- ・地域をフィールドにした学習活動を進める
・地域に根差したESDを推進する
・地域の人材、資源を活用した教育を推進する
・学校支援団体との連携強化に努める

教育課程編成の方針

Society5.0の到来を見据え、ユネスコスクールとしての自覚とESD(防災・平和・福祉等)の推進により、奉仕の精神と協力する態度、主体的に行動する力を育成できるよう、教育課程と指導体制を工夫する。

めざす教職員の姿

- ・教育的愛情に溢れる教職員
・厳しく、温かく、公平で信頼される教職員
・教育公務員として責任ある行動がとれる教職員
・常に研修に励み、健康で魅力あふれる教職員
・生徒を大切に、共に伸びていく教職員

特色ある学校づくり

- (1) 育てたい資質・能力 現代社会の課題を自らの問題と捉え、持続可能な社会実現のため、身近なところから主体的に取り組み解決しようとする態度と行動力。(ユネスコスクールとしての自覚、ESDの推進)
(2) 具体的取組
・防災・平和・福祉教育や新聞活用(NIE)、食農体験等を通じたESDの推進
・JRC等による地域ボランティア活動の展開
・地域未来会議や地域活動等を通して、自らの意見を地域に反映させようとする意欲の醸成

【本年度の重点】 ○は地域学校園共通

(1) 学校運営 ~学校と地域が連携した生徒のための学習、体験活動の推進~

- ・防災・平和・福祉を主なテーマに、国際社会、地域社会に目を向けたESDを推進する。
・教職員が一丸となって学業指導にあたるとともに、業務の効率化と働き方改革を進める。
○休日の部活動指導の地域移行と新たなスポーツ・文化活動の推進策について検討を進める。

(2) 学習指導 ~自ら取り組み、「わかった」「できた」を実感できる授業づくりの推進~

- ・生徒が主体的に学習に取り組むために学習評価を工夫・改善する。
○9か年のカリキュラムマネジメントとその評価の展開により、学力の向上を図る。
・習熟度学習・TT、ICT機器を生かし、主体的、対話的で深い学びのための授業改善を図る。
・読書活動、新聞活用(NIE)等を充実し、広い視野と思考力・判断力・表現力を育成する。

(3) 児童生徒指導 ~ともに成長できる集団づくりと自己指導能力の育成~

- ・自ら考え、判断し、責任をもって実行できる自己指導能力の育成・向上を図る。
○特別支援教育の視点を活かし、自己肯定感、自己有用感を育む教育相談に努める。
・共に課題に立ち向かい、互いに認め、励まし、称え合うことで、自他共に成長できる集団づくりを推進する。
・困難を克服し失敗から立ち上がる力(レジリエンス)の育成に努める。

(4) 健康(体力・保健・食・安全) ~強い体、折れない心、健康的な生活習慣の育成~

- 基礎体力の向上と持久力を養うための活動を工夫改善する。
・カリキュラムマネジメントにより、健康、食育、安全に関する指導の充実を図る。
・感染症対策や防災教育を通して、危機に対応できる能力の育成を図る。